



発行 古河市立三和東中学校

発行日 平成29年12月5日(火)

H P sanwahigashi.koga.ed.jp

【スローガン:「Do One's Best!」(何事も全力で)】

三者面談・授業参観へのご参加、ありがとうございました

11月14日(火)から20日(月)の三者面談、12月1日(金)の授業参観にはご多用の中にもかかわらず、足をお運びいただき本当にありがとうございました。

三者面談では、短い時間でしたが、お子さんの成長やよさを三者で確認し合うとともに、学校だけではうかがい知ることのできないお子さんの様子を共有することができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。また第3学年では、いよいよ私立校受験の願書提出の時期を迎え、進路について具体的な話合いと準備を進めることができました。

授業参観では、1・3年生は道徳の授業、2年生は「県立高校の先生方から学ぶ進路学習」を参観していただきました。特に道徳の授業では、交流活動をテーマに授業改善を図ってきた本校の取組の一端を見ていただけたものと思います。

また懇談では、3年生は進路を中心に、1・2年生は、学習や生活の様子について、2学期の学校生活を振り返りながら共通理解を図ることができました。

今後もこの面談・懇談を生かし、さらなる生活向上と進路実現に向け、学校と家庭がより一層連携協力しながら取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



三年生道徳の様子



一年生道徳の様子

自分の将来について真剣に考えました～2年進路学習会を開催～

2年生の進路学習は、茨城県立高校の先生方から学ぶということで、八千代高校、古河第一高校、総和工業高校、下妻第一高校の先生から、高校進学のための目的や高校生活について説明していただきました。また、これから進路を実現するために大切なことなどについてもお話いただきました。先輩方が多数進学した高校の先生方のお話ということで、2年生は、進路を自身の問題としてより実感を持って捉え、真剣に考えることができました。



◇先日の学校説明会では、普通科と総合科の説明を聞きました。学校それぞれに違った特色があり、自分が思っていたイメージとは違った面があり、高校生活はとても楽しそうで興味深い話ばかりでした。進学に向けてとても参考になりました。 2の1 石丸 航大

◇進路学習を終えて、勉強に対する考えが変わりました。今までは勉強をしても「やればいいや」という思いが強かったのですが、自分の勉強法を見直し、学力向上につながる勉強をしたいと思いました。勉強だけでなく進んでよいことかもしれません。 2の1 高橋 友香梨

◇進路学習を聞いて、もっと高校のことを考えなくてはならないと思いました。各高校について知ることはできましたが、もっと自分で調べて行きたい高校に行けるよう、さらに勉強をしようと思いました。今回の進路学習会は色々なことが分かりよかったです。 2の2 目黒 沙樹

◇進路学習で自分の考えを見つめ直すことができました。将来したいことが決まっていなかったため入れる高校に進学すればよいと考えていましたが、入学してからでも学ぶことを色々選べる高校の話聞き、興味を持ちました。目標を持ち勉強に励みたいと思います。 2の2 安田 拓

人権について考える会 - 3年 大野夢叶さんが作文発表

11月16日(木)に「古河市人権について考える会」が開かれました。この会は、古河市が、市民の人権意識の高揚を図り、人権に関する問題を正しく理解することを目的に、毎年行っているものです。今年度は、この会において3年生の大野夢叶さんが「生きる大切さ」という題で作文を発表しました。大野さんは、職場体験の古河病院での重病者や障害を持つ方との触れ合いについて紹介しました。その内容は「人として自分らしく生きる意味」や「人と人の絆を深める助け合いの大切さ」などについて強く語りかけるすばらしいものでした。



私は今年の夏、職場体験で古河病院を訪れました。看護師さんから事前に「重い病気や障害を持った人がいるから驚かないで接してあげてね」と言われましたが、障害や病気を持った人とは何度か触れ合ったことがあり、自分は大丈夫だと思っていました。しかし、実際に病棟に入ると、空気が全然違うと感じ余裕が消えてしまいました。病棟にいる全ての患者さんが重い病気や障害を持った人だったのです。私は3日間、不安で一杯になりました。しかし体験を重ねていく中でそんな気持ちでこの3日間を過ごすことは、間違いだと感じました。病院は職員の方の大きく元気な声が響き、そこは明るくなる場所だと気付いたのです。病気や障害を持っていても、とても楽しそうに手拍子をして音楽を楽しむ患者さんの様子は印象に残るものでしたし、行事の時にお楽しみメニューを食べる姿も楽しそうでした。また短い時間ですが、きれいな空気を吸い、桜や紅葉を見て散歩することも患者さんにとっても人気なようです。職員の人たちが共通して言っていたことは、「重い病気でも障害を持っていても人間として自分らしい生活を送れるようにする」ということでした。病院や施設、人に支えられながらも楽しい生活を送ることが人なのだと思います。職場体験が始まって3日目、私の気持ちは初日と違って不安から楽しみに変わっていました。車椅子の人や寝たきりの人と視線を同じにして、会話を楽しみながら3日目を終えることができました。

それから1年後、私は家族旅行で大阪に行きました。そこで目の不自由な人が杖を点字にブロックにあて「通ります、通ります」と言っている姿を目にしました。荷物が重たそうだったので、職場体験で学んできたことを生かし「持ちましょうか」と声をかけ、ゴール地点まで荷物を持っていき、「ありがとう」の声を聞いたとき、私は気持ちが高揚しました。母に「えらかったね」と言われ、やってよかったなと思いました。助け合うことで人との絆が深まることを知った1日となりました。私は、これから人に頼られる人になり、率先して人を助けられる人になって、病気や障害を持つ人と共に楽しく生きていきたいと思っています。

「トイレ掃除に学ぶ会」に向けて～倫理法人会の方々によるリーダー講習会を実施～

11月29日(水)に、1年生が「トイレ清掃に学ぶ会リーダー研修会」を実施しました。この会は、総合的な学習の時間に、古河市倫理法人会スタッフの協力により、校舎内外のトイレ掃除を行う中で、リーダーを中心とした生徒活動の充実を図るとともに豊かな情操を養うことがねらいです。12月6日(水)には、「トイレ清掃に学ぶ会」として、今回、研修を受けたリーダーの生徒たちが、グループのメンバーを指導し、1年生全員一斉に校内のトイレ掃除に取り組みます。リーダーとなった生徒たちは、倫理法人会の方々のお話に熱心に耳を傾け、「なぜトイレ清掃に学ぶのか」「トイレ清掃から何を学ぶのか」を理解し、真剣に講習会に参加しました。この取組を通して、学校全体の意識向上を図るとともに、清掃に留まらず、学校生活の様々な部分に波及させていきたいと考えています。



バザーや模擬店へのご協力、ありがとうございました！！

東輝祭における模擬店やバザーでは、78,886円の収入となりました。収益金は、生徒の学習環境向上のための予算として活用させていただきます。ありがとうございました。